

四国支社管内では、徳島自動車道・松山自動車道の計5箇所において4車線化事業を実施しています。この整備により、走行性・安全性等のサービスの向上や、防災・減災対策における効果が期待されています。

徳島自動車道
土成IC～脇町IC

徳島自動車道
脇町IC～美馬IC

松山自動車道
伊予IC～内子五十崎IC

松山自動車道
内子五十崎IC～大洲IC

①土成IC～脇町IC (H28.6事業許可) ④伊予IC～内子五十崎IC (H28.6事業許可)

R3.3.31 一部4車線運用開始 橋梁工事施工状況

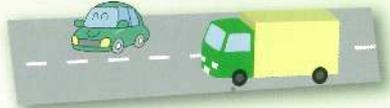
整備効果

① 時間信頼性の向上

4車線化により、大型車等の低速車両が後続車へ道を譲ることが可能となり、時間信頼性が向上します。

② 安全性の向上

4車線化により、上下線分離構造となることから快適性や安全性が向上します。



③ リダンダンシー機能の強化

災害が発生した場合、災害復旧車両や物資輸送を行うための緊急輸送路となる高速道路の機能を強化します。



渋滞状況(徳島道 阿波PA付近)